

令和6年度タウンミーティング 高野地区	
開催日時	令和6年6月29日（土）9：30～11：00
開催場所	高野公民館 多目的ホール
出席者	市民66名
議事内容および要旨	
【開会】 【市長挨拶・説明】 資料「未来へつなぐもりやビジョン」に基づき説明 【主な意見と回答】 （参加者） 二つ質問があります。一つ目は、ヤクルトの2軍球場を含む総合公園についてです。今回の予算で用地買収を行ったという説明がありましたが、今後、工事も始まってくるかと思います。今後、どの程度の費用がかかるのでしょうか。二つ目は、結婚式場アジュールの跡地を購入した理由として、市長から将来のことを考えてという説明がありました。今、市内の小学校で教室が足りないという問題がありますが、将来のことを考えるのであれば、子どもたちに環境の不安を与えないようなことを考えていただきたいと思います。 （市長） ヤクルトの2軍施設の土地は市が購入しますが、建物はヤクルトが建築するため、建築費はかかりません。ヤクルト施設の建築が完了した後に、施設を市が寄贈を受け、ヤクルトから賃料をいただきお貸しすることになります。また、用地買収にあたっては3億円ほど国から補助金も出ております。総合公園のヤクルトの球場以外の部分については、まだ方針が決まっていませんが、官民連携の中で、賃料をいただき、維持管理費がかからない手法で運営できればと考えています。過大規模校となった黒内小学校については、人口推移が想定外となりました。当初、松並青葉地区の区画整理事業は、ほとんどが戸建て住宅で計画されていましたが、リーマンショック等の影響で戸建て住宅からマンション建設へと変更になり、想定していた人口を上回ったことが要因です。しかし、人口増加はいつか止まってしまいます。郷州小学校も当初は過大規模校となっていましたが、現在は児童数が少なくなっています。教室が足りないという問題について、新設校を建築して解決するということになると、今後、維持費がかかり続けることから、慎重に判断する必要があります。現時点では、他の学校にスクールバスで通学するという対策で対応することとしています。	

(参加者)

市有地についてお聞きします。もともと葬儀場があった市有地を売却しましたが、購入者がどのような事業を実施しているか私には分かりません。市が土地を売買する際に建物を建てることを条件としている場合、とりあえず建物を建てておいて、時間が経過してから転売するということも考えられるのではないのでしょうか。

(市長)

現在、転売は禁止にしています。ご指摘の建物はマンションのモデルルームと聞いています。

(参加者)

世帯数も人口も増加していますが、世帯数が人口に比べて増加が多いようです。単身者など少人数世帯が多いと思われますが、若者世帯と高齢者世帯でそれぞれどのような推移になっているのでしょうか。

(市長)

この場では、データがなくお答えできませんが、データがございましたら後日送りいたします。

(参加者)

大きな地震はいつ起きてもおかしくありません。行政としては、守谷市の中でどのような災害を想定していますか。防災、避難所を担当する職員の中で女性職員は配置されていますか。新聞報道では、女性職員が配置されていない市町村もあるようです。女性は特別な配慮が必要なこともあるため、配置されていなければ配置をお願いしたいと思います。また、東海第二原発の20年延長申請をしないように求める意見書の陳情を提出し、守谷市議会で採択されています。東海村は原発を再稼働させようとしています。守谷市は再稼働をさせない方針を変えないでほしいと思います。

(市長)

自然災害については、毎年度、防災訓練を行っています。積雪のように事前に分かる自然災害については、職員に通知を行い、いつでも集まれる体制を取っています。

避難所は、女性や子どももあり、多方面から意見を伺う必要がありますので、女性職員を配置しています。東海第二原発の再稼働については、守谷市として判断はできないと考えております。守谷市ができることは、避難所として受け入れることです。再稼働の是非については、当事者や周辺の方々の意見を尊重したいと考えています。

(参加者)

ふれあい道路沿いの植え込みの中に、ガムや食べ残りのごみ、オイル缶などのごみが捨てられてしまい、困っています。また、ごみ集積所において、近くのお店が時間を守らない、地区外の人に捨てられてしまうことがあります。ごみ集積所の問題は自治会だけでは解決できないと思います。

(市長)

ごみは、モラルの問題で、行政がすべて監視することは難しいです。市民の皆様の監視力にも期待することになってしまいます。市としても、できることはやっていきたいと思っています。

(参加者)

タウンミーティングの終了時刻は、１１時までとなっていますが、秘書課の職員の方に１１時以降も意見がある人から、意見を聞いていただきたいと思います。

(秘書課長)

タウンミーティング終了後、ご意見をお聞きさせていただきます。

(参加者)

６点、お話ししたいことがあります。１点目は、金山地区のホース格納ボックスが金山公民館の敷地に置かれたことについて、道路用地であるのり面部分に設置することを提案したところ、道路管理者と調整を行うと回答がありました。４月には議員経由でも伝えており、２か月以上経ちますが進捗がないため、なぜ内部調整にそれほど時間がかかるのか、正常に事務が行われているのか疑問です。２点目は、２０２３年３月の不適切な補修工事と側溝内の詰まりによる雨水の溢水について、レポートしたところ、５月、９月、２０２４年４月に検討すると回答いただきましたが、業務怠慢で改修する姿勢が見られません。中だるみで４０ｍ施工し、無駄な支出をした業者と市の責任はないですか。改修はしないのですか。３点目は、私の提案で提出し、回答をいただいておりますが、市役所の回答は間違いもあるので、精査していただきたいと思います。４点目は、高野土地改良区外周道路について、市道認定されていない状況です。舗装されており、側溝、下水道管も埋設されており、車の回遊性もあります。５０年も経過し、市道認定するべきではないでしょうか。５点目は、市から「土地改良事業にて整備された道路、水路については、所有の有無にかかわらず、維持管理については、土地改良区と協議を行い土地改良区が行っています。協定は結んでおりませんが、今後、土地改良区より相談があった場合には、協議により対応を検討します」と回答いただきましたが、５０年以上も守谷市は無償で改良区の予算で土地改良区組合員に草刈り作業をさせているのはひどいと思いませんか。公共道路の法面、雨水排水路の法面、５０年前は耕作者も多くいましたが、現在は１０名前後です。社会情勢

は大きく変化しており、当時の口約束で50年も市役所が本来費用負担し管理すべき場所を土地改良区の費用でやらせているのです。作業に都合が悪く出られない人は5,000円を支払うよう書面に記載されています。「近年、高野環境保全活動組織が活動するようになり、草刈り作業等の維持管理については、土地改良区として行う部分と活動組織として行う部分を地域のやり方で区別していると思います。市として、やり方まで指導できないので人件費の支出等も含めて、改良区の会合等でご質問ください」という回答をいただきましたが、昭和50年に守谷市が指導協議し、改良区に草刈り作業を押し付け、環境保全事業が入ったから勝手に作業せよ、調整せよ、では、おかしいのではないのでしょうか。本来、守谷市の道路、水路ですので、土地改良区の費用を支出させる根拠がないのではないのでしょうか。守谷市が改良事業、環境保全事業に深くかかわっているのですから、筋の通った形式に、守谷市が先頭になって指導改善するべきではないですか。記念碑には、経済課が尽力したと担当者名まで記載されています。6点目は、2015年9月の豪雨の際に、市から、「羽中水門が閉門し羽中川が増水し浸水を防ぐため、高野土地改良区から排水の要請があり対応し、今後、同様な災害が起きた際の災害対応形態については、改めて高野土地改良区と協議させていただき、検討させていただきます」と回答がありました。水門が閉門し、けやき台の調整池からの排水が長時間かかるため、ポンプ排水が必要になるわけです。土地改良区と協議ではなく、調整池の管理を含め、守谷市の防災対策の一つとして水門が閉門したら連動して、守谷市が対応できるようにするべきではないのでしょうか。

（市長）

詳細な説明ありがとうございました。お話しいただきました内容については、担当課と共有させていただきます。

【市長挨拶】

本日は、早朝からお集まりをいただきましてありがとうございました。様々なご意見を頂戴しました。今後も、引き続き、市民の皆様との信頼関係を築きながら、行政一同がんばってまいりますので、今後ともよろしくお願いしたいと思います。本日は本当にありがとうございました。